

部局名	健康福祉部	所属名	長寿支援課	所属長名	土井 芳則	電話	483-1151 内線2220
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	4124	事務事業名称	短期人間ドック助成事業				短縮コード	経常	4124	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	老人福祉費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等		八千代市高齢者短期人間ドック助成事業実施要綱							
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
<p>後期高齢者医療被保険者が、短期人間ドックを受診する際にかかる費用の一部を助成することで、健康保持増進を図るもの。 平成20年4月1日から後期高齢者医療制度が開始され、国民健康保険に加入して短期人間ドックの助成を受けていた被保険者が、国民健康保険から後期高齢者医療制度に移行すると助成が受けられなくなるという状況を防ぐ必要があった。また、制度の新設に際して、幅広く後期高齢者の健康保持増進を図るため、国民健康保険に加入していたか否かを問わない制度とした。</p>												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱(章)	01	第1章健康福祉都市をめざして					
短期人間ドックによることで、後期高齢者医療健康診査と、市民に対するガン等の検診を同時に行えるものだが、一般の検診との費用の整合性を図る必要があったため、平成21年度より助成額等の一部変更を行った。					大項目(節)	01	第1節保健・医療					
					中項目	01	1. 保健					
					小項目	02	(2) 疾病対策の推進					
					細項目	01	①各種がん検診及び生活習慣病対策					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	短期人間ドックの受診を希望する後期高齢者医療被保険者						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成23年度に実際に行ったこと: 短期人間ドックの受診を希望する後期高齢者医療被保険者に対して、費用の一部(本人負担3割、後期高齢者医療の基本検査分を含み助成対象上限42,000円。)を助成した。 ※平成24年度に計画していること: 前年度と同じ						
意図 (何を狙っているのか)	後期高齢者が短期人間ドックを受診する際の費用を一部助成することにより、被保険者の健康の保持増進を図る。						
ねらい(上位施策の意図)	入力対象外						
区分		単位	22年度		23年度		24年度
			実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	後期高齢者被保険者数	人	15,225	16,996	16,268	16,691
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	助成対象額	円	2,198,672	3,102,000	2,379,251	3,301,000
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	利用者数	人	105	130	119	140
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	4124	事務事業名称	短期人間ドック助成事業			所属名	長寿支援課
	単位	22年度		23年度		24年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円		3,100		3,342
	その他	千円	2,199		2,379		
	主な事業費の内訳	扶助費 2,166千円 消耗品 33千円		扶助費 3,065千円 消耗品 35千円		扶助費 2,379千円	扶助費 3,301千円 消耗品 41千円
人件費(B)	千円	3,902.8	3,357.6	2,933.7	3,357.6		
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,101.8	6,457.6	5,312.7	6,699.6		

3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている <input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	第4次総合計画の体系「疾病対策の推進」に結び付いている。			
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している <input checked="" type="checkbox"/> 達成していない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	対象者が毎年異なることから、目的を達成することは難しい。			
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	費用の助成を図ることで、各個人の健康保持増進に結びつける事業であるため。			
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 見直す必要がある <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	所期目的に変更はなく、現状の対象と意図で結果に結び付く。			
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 両方可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	事業費のほとんどが扶助費であり、有効性や効率性を上げることは難しい。			
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)
		<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し		2		実施主体(所管部署)
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し				
<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し						
<input type="checkbox"/> 上記以外の方法						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない					

コード	4124	事務事業名称	短期人間ドック助成事業			所属名	長寿支援課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			国民健康保険と後期高齢者医療制度は医療制度として切り離して考えることができません。社会保障政策として、制度の見直しが検討されているため、法改正を見守る必要があります。																					
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続																								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	後期高齢者医療制度の被保険者は増加傾向にあることから、事務費・コストも増加傾向であります。事業費のほとんどが扶助費であることから成果は不変としました。	
		経費																									
		削減	不変	増加																							
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																							
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
長期的に事業を展開する必要がある。	

所属長コメント	高齢者の検診に限らず、特定検診、がん検診のいずれも受診率向上を求められており、今後はがん検診を含む総合検診として市民へのアピールが必要と考え、今後も総合健診の連携をとる人間ドックの普及と拡大を受診率向上の打開策の一つとして推進していく。	
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。